

千葉商工会議所景気動向調査

令和2年8月調査結果

令和2年9月

千葉商工会議所

千葉商工会議所景気動向調査

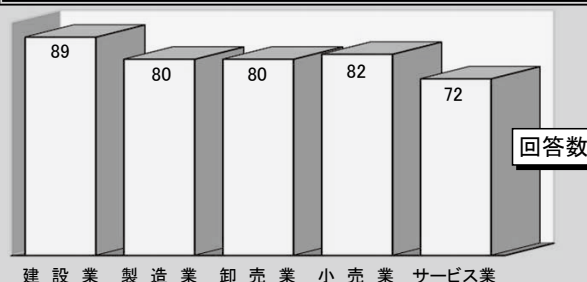
……令和2年8月調査結果報告……

調査期間：令和2年8月5日(水)～8月28日(金)

調査対象：千葉商工会議所法人会員事業所 500社
(回答 403社 回答率 80.6%)

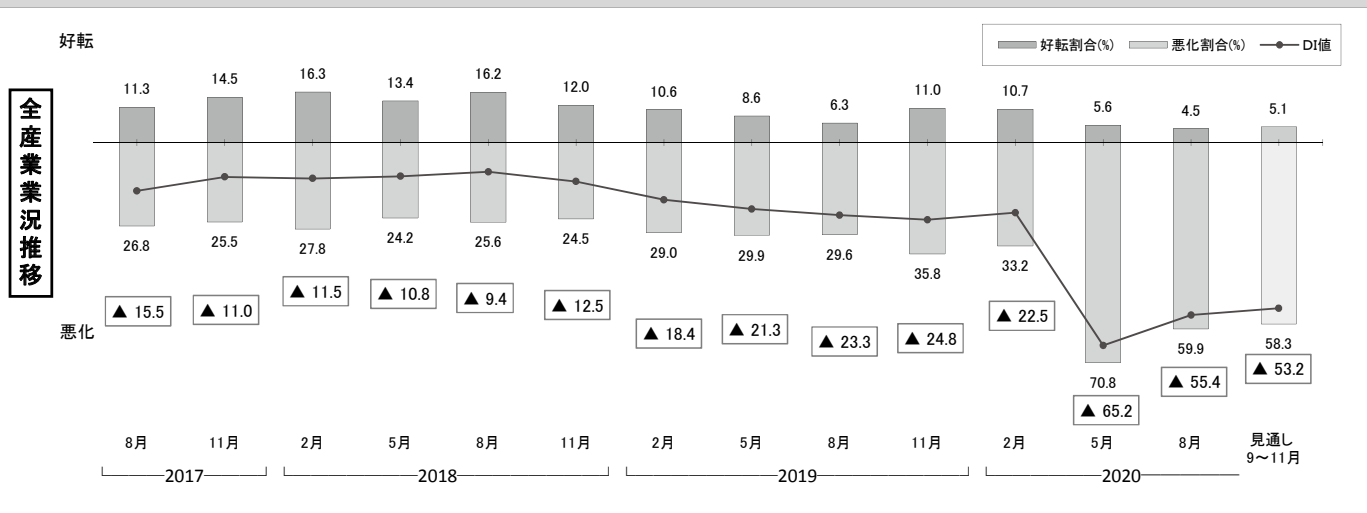
DI値(景気動向指数)とは、売上・採算・業況などの項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

DI値：(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)



回答数

建設業 製造業 卸売業 小売業 サービス業



【全体的特徴】

(▲はマイナス)

業況DI(前年同月比ベース、以下同じ)を見ると、前回調査(令和2年5月、以下同じ)と比較して、全ての業種が上昇した結果、全産業合計DIは9.8ポイント上昇して▲55.4となり、2期ぶりの改善となった。

また、向こう3ヶ月(9月～11月、以下同じ)の先行き見通しは、卸売業、小売業が下降し、建設業、製造業、サービス業が上昇の見込みとなっており、全産業合計DIは現状より2.2ポイント上昇の▲53.2となっている。

売上DIでは、前回調査と比較して、全ての業種が上昇した結果、全産業合計DIは9.4ポイント上昇して▲54.6となり、2期ぶりの改善となった。

また、向こう3ヶ月の先行き見通しは、卸売業、サービス業が下降し、建設業、製造業、小売業が上昇の見込みとなっており、全産業合計DIは現状より1.9ポイント上昇の▲52.7となっている。

採算DIでは、前回調査と比較して、全ての業種が上昇した結果、全産業合計DIは10.1ポイント上昇して▲53.0となり、9期ぶりの改善となっている。

また、向こう3ヶ月の先行き見通しは、建設業、小売業が下降し、製造業、卸売業が上昇、サービス業が横ばいの見込みとなっており、全産業合計DIは現状より2.1ポイント上昇の▲50.9となっている。

仕入単価DIは、3期ぶりに悪化している。

従業員DIは、3期ぶりに上昇しているものの、新型コロナウイルスによる影響で採用を見送るとの声が多い。

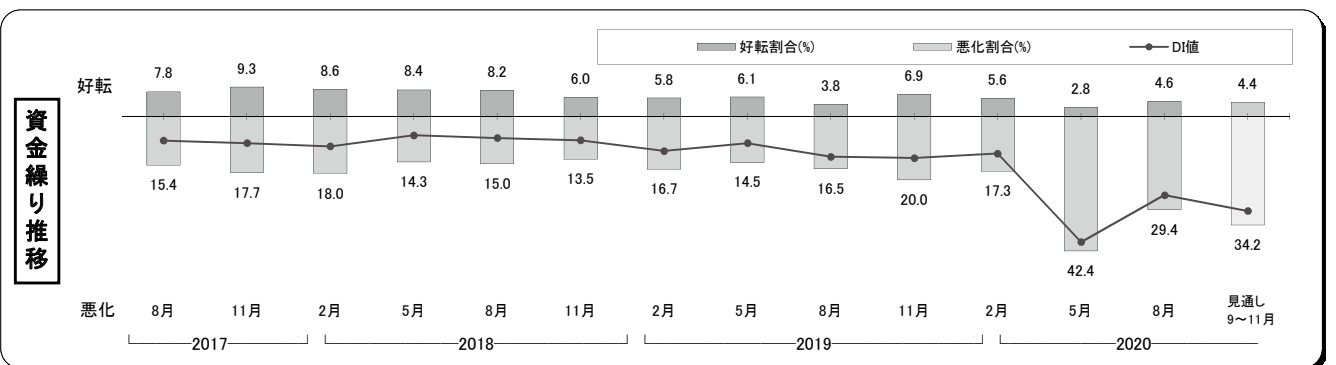
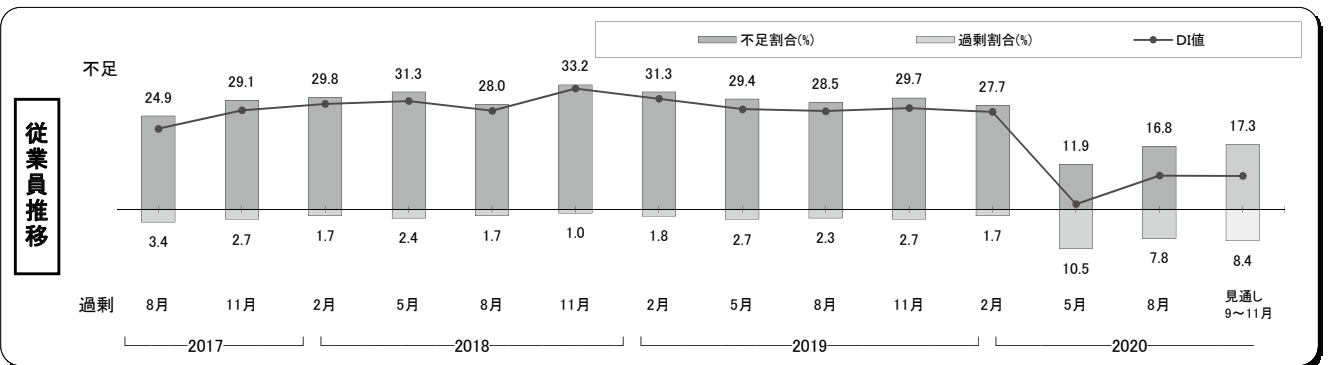
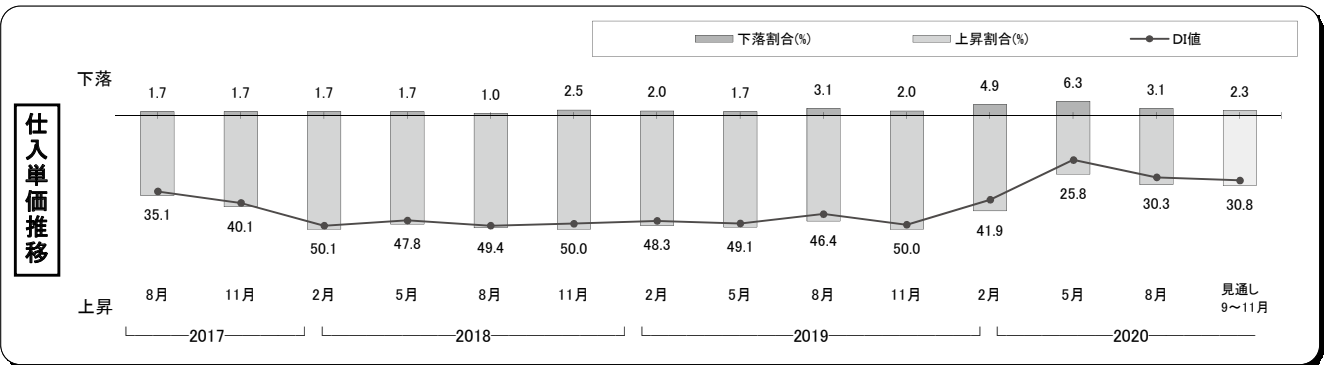
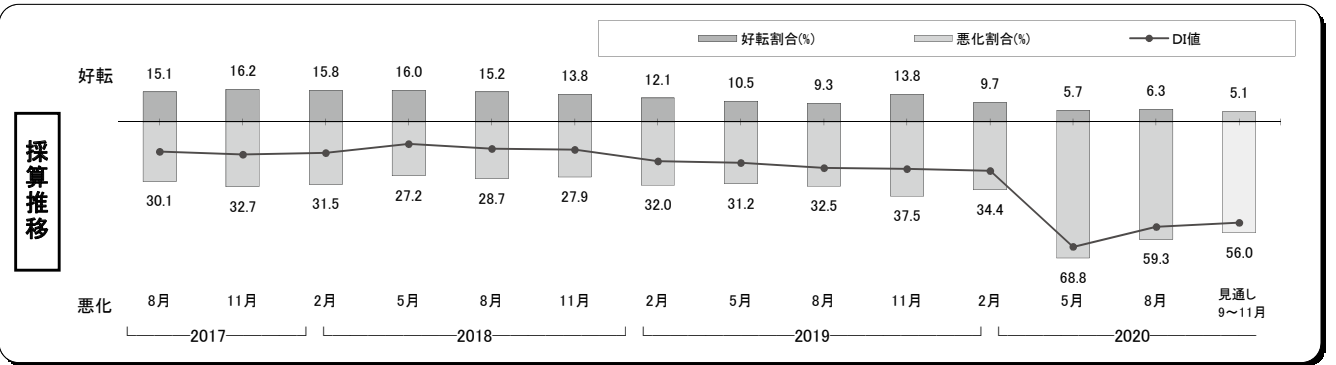
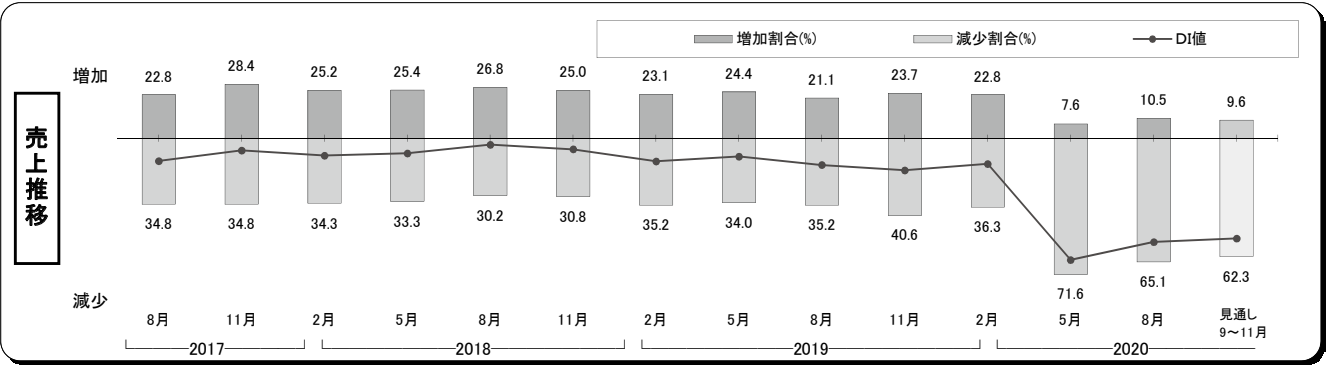
資金繰りDIは、2期ぶりに改善しているものの、低水準で推移している。

全体を総括すると、業況DI・売上DI・採算DIの全てにおいて全業種にわたって上昇しているものの、低調に推移している。先行きについては、全体的に新型コロナウイルスの影響長期化に対する強い警戒感があり、不透明となっている。

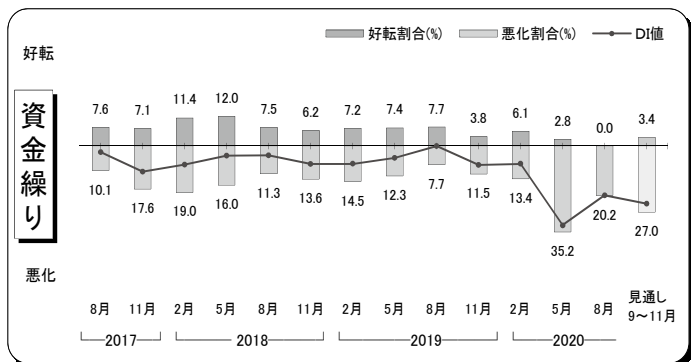
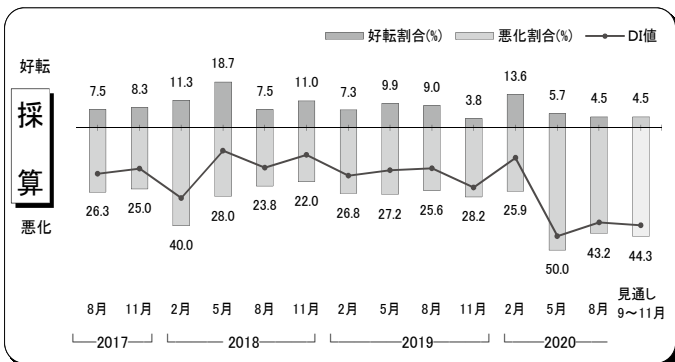
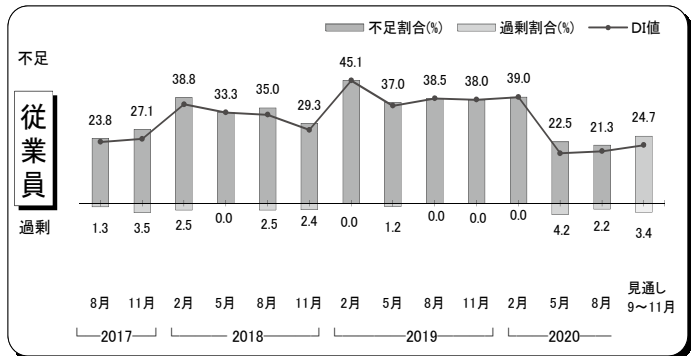
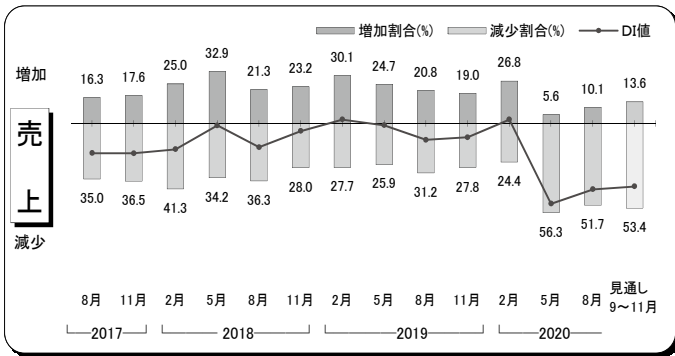
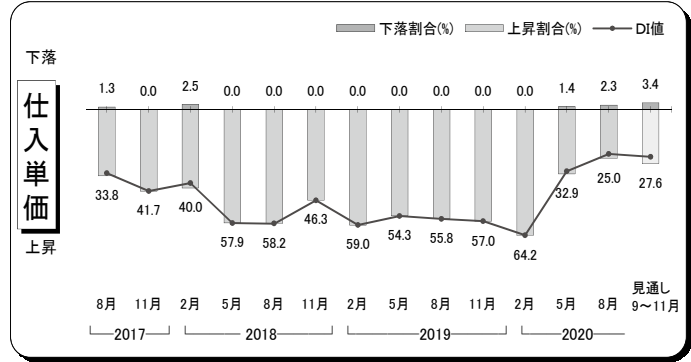
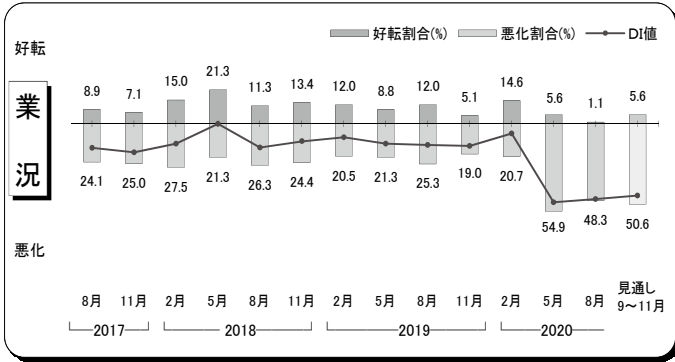
【調査結果のポイント】

- ・新型コロナウイルスの影響により厳しい状況が続く
- ・先行きは、依然として新型コロナウイルスの影響長期化に対する強い警戒感がある
- ・新型コロナウイルスによる売上減少は「50%以上減」が減少するも「10～30%減」が半数以上を占める
- ・マイナスの影響を受ける企業の約9%が人員整理を検討・実施

【全産業】



【建設業】①

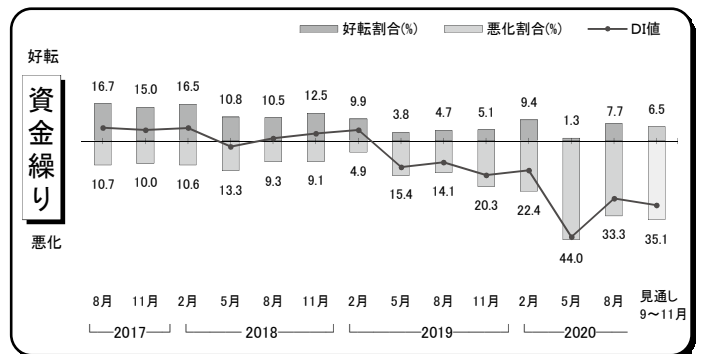
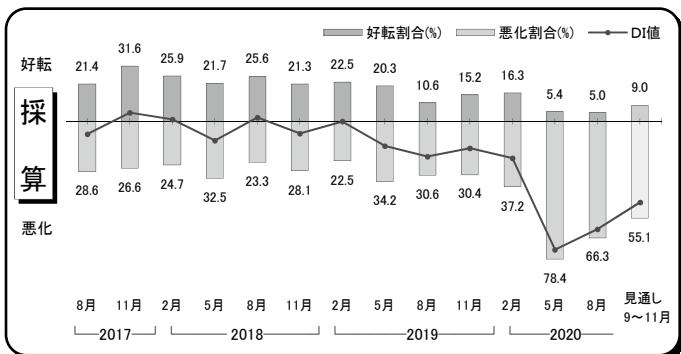
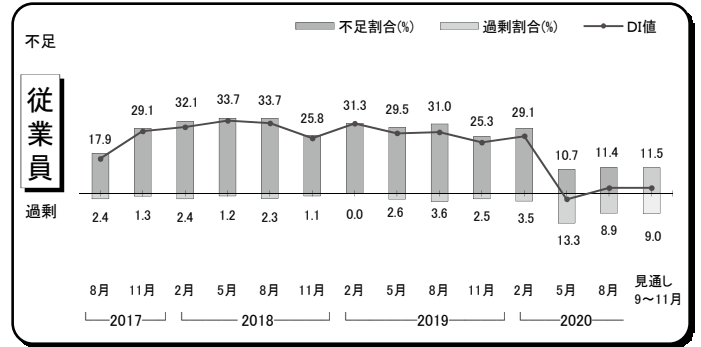
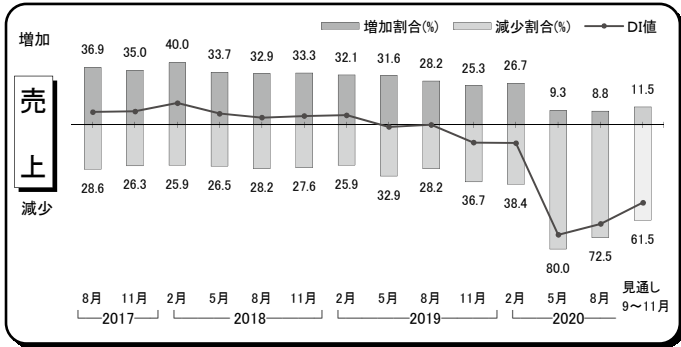
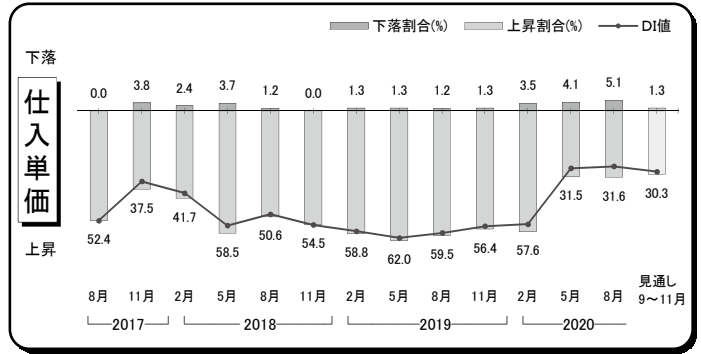
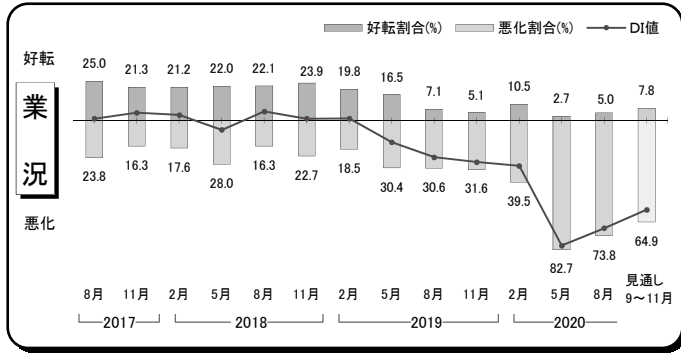


【建設業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

一般土木建築工事業	日本は新規感染者が多くなっているが、死者などは抑え込めていて対策は成功している。徐々に経済活動を再開したほうが良いという風潮に変えて欲しい。
土木工事業	例年と比較して、秋以降の受注見通しが立っていない。予定した受注案件の遅延がある（着工未定）。
土木工事業	工事のスタートが遅れ、結果、納期に間に合うか不安有り。
造園工事業	肌感で、千葉はコロナの怖さが東京より少し薄い気がする。ただ、こちらが東京の状況を見た時に感じる怖さは、他県から関東を見る時と同じであり、県外への外出も仕事としても行きづらい。冬に向けて感染拡大が心配だ。
とび工事業	4・5・6月と新型コロナウイルスの影響により売上が下がり、受注先も仕事が少ない中、各所にて値下げ傾向が続いている。7・8月はどうにか仕事にありつけたが全般的に少なく、9月からの受注もまだまだ減少気味である。各方面からも仕事が少ないとの話を伺っており、当社としても値下げをしないと仕事にありつけない。新型コロナウイルスの終息は来るのか正直不安である。
電気工事業	今のところ、金策は立てていないが、9月から年末に向かってどうなるか予想がつけ難い。何かしらのお世話になると思われる。
一般電気工事業	全社員のPCR検査の実施をして欲しい。
管工事業	（国・県・市は）数学やグラフを使用した理解しやすい説明と、その理由を必ず報告するように心がけて頂きたい。
管工事業	弊社は建設関係業種。あまり、影響は少ないのでは？長引くと影響が出てくるのは誰が考えても明快。飲食・サービス業他、厳しい環境の業種の方々を何とか助けないといけない。大きな支援をしていただきたい。具体的な調査をして援助希望。

【製造業】①

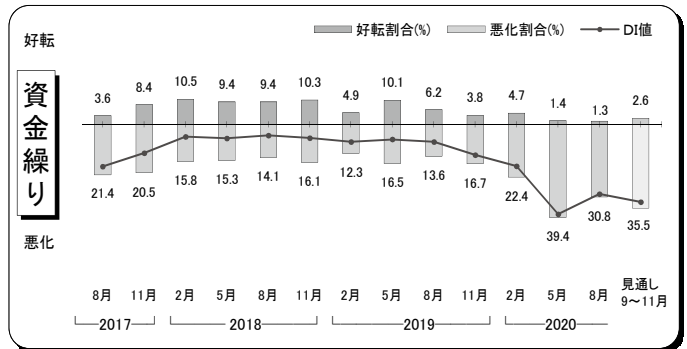
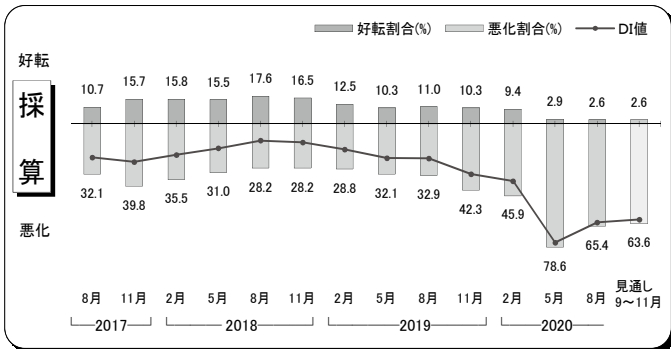
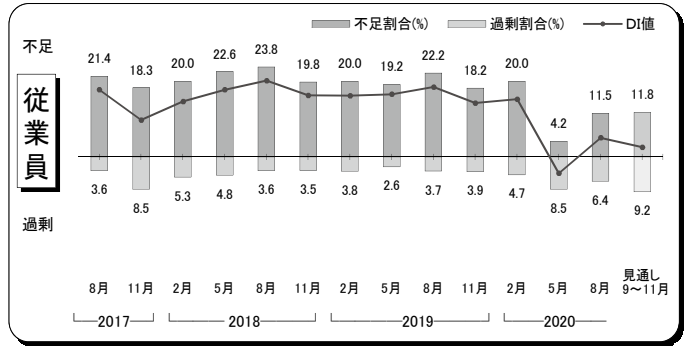
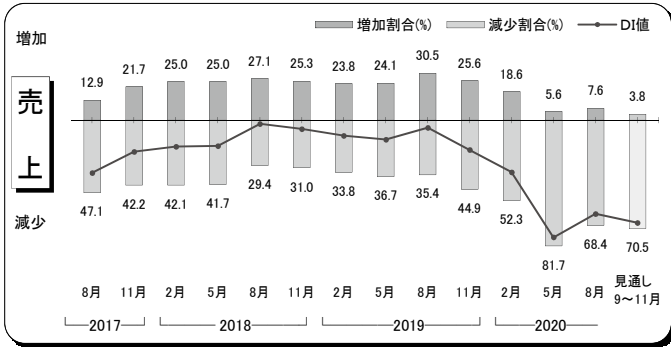
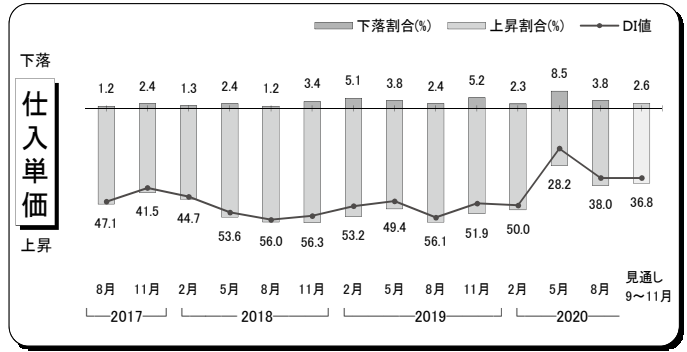
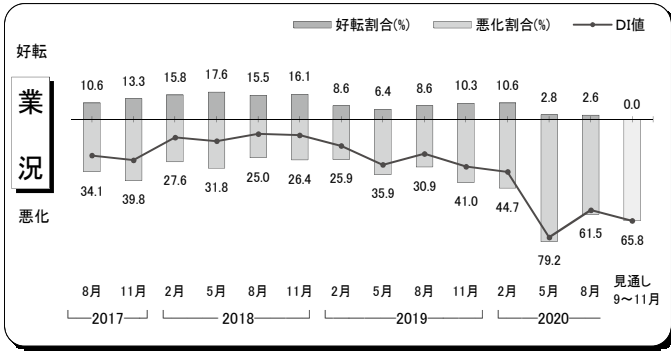


【製造業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

処理牛乳・乳飲料製造業	自粛を止め、指針を決める。（重症化しにくい年齢層は経済活動するなど）
めん類製造業	新型コロナウイルスに関する給付金、助成金等については長期化した場合には限度があると考え。経済活動も状況を見ながら、バランス良く続けることが必要と考える。
木製家具製造業	補償なしで休める訳がない。
オフセット印刷業	イベント中止による仕事量の減少に加え、同業者間の競争の激化による減少等、いろいろな影響により、先行きは不安感のみとなっている。再度持続化給付金の支給を考えていただければと思う。
化学工業製品製造業	製品原料の品薄による特定売れ筋製品の供給が不安定性や、県外のクライアント先へ出向くことがしにくいなど、スムーズな営業活動が整然と出来ているとは言い難い。しかし、経済活動が少しずつ動き出したことにより、自粛期間中の停滞分を取り戻している。県外への移動が困難な分、千葉県内の活性化…飲食業等だけでなく、我々製造業やBtoB企業に対するプロモーション活動と、更なる給付金制度等に期待したい。
プラスチック成形材料製造業	現在、千葉市役所の改装工事が実施されていると思う。当社の製造する製品は必ず改装工事に使用される製品ではあるが、当社が千葉市内の拠点にもかかわらず、千葉県への売上が低く他府県にある同業に負けている状況にある。地産地消ということではないが、是非とも千葉市役所の改装工事には当社の製品を使用していただきたい。
工業用ゴム製品製造業	各助成金等の締め切りが早く、製造業の売上減少の時期と合わず、受けられないものが多い。
理化学用・医療用ガラス器具製造業	国からの持続化給付金、県からの支援金の振込がとても早かったので仕入先への支払い時にとっても助かった。だが、決算時、法人税・所得税の課税対象となるということで、今後、売上が伸びて利益がプラスになった場合を心配している。
コンクリート製品製造業	売上は月平均すると昨年と同程度。しかし、各月に波がある。仕入単価は上がり始め、採算が多少悪化。コロナウイルスで大きく変わることも考えられるが予測がつかない。
製缶板金業	支援の要望の前に国と地方の統一した整合性のある政策を望む。
建設機械・鉱山機械製造業	ワクチンの開発が大いに待たれる。どのような効力のあるものが市場に出回るのか。これ以上、経済が停滞してしまうと、どの業界・団体も立ち行かなくなってしまうのでは。国はそういうところにお金（税金）を投資してもらいたい。
金属工作機械製造業	秋位に新規事業を立ち上げるため、パート採用予定。秋～冬にもう1種類の事業が立ち上がるため、今期後半の目途が立っている。前期の売上の2倍を予定している。
生産用機械・同部品製造業	企業活動におけるガイドライン等の情報支援を要望する。
生産用機械・同部品製造業	各種助成金、補助金、又給付金等、多岐に亘って支援制度があるが、手続きが煩雑で躊躇する。申請代行業者もいるが頼みづらい。
サービス用機械器具製造業	今後の先行きが見えない状況である。コロナ対策の強化と経済活動が早く好転するように間断ない対策をお願いしたい。
集積回路製造業	千葉市のコロナ感染者について明確に情報発信をお願いしたい。非常に不安である。PCR検査を企業にもできるようにしていただきたい。給付金、支援金、助成金、補助金とかよりも新型コロナウイルスを早く収束するにはどのようにしたら良いか、また、若者に新型コロナウイルスに対してもっと真剣に考えるようにしてもらうには、どのようにしたら良いか考えるべきだと思う。現在の世の中は無責任な報道に左右されている。早く収束をしないと営業にもいくことが出来ないし、海外ともビジネスが出来ない。いろいろな意味で厳しくなる。一番お願いしたいことは国民全員が新型コロナウイルスに対し真剣にとらえて欲しいということである。
音響部品・磁気ヘッド・小形モータ製造業	観光事業、飲食業等の経営基盤の脆弱な法人設立時には「最低6か月分の販管費を資本金とする」法律を作るべきだ。

【卸売業】①

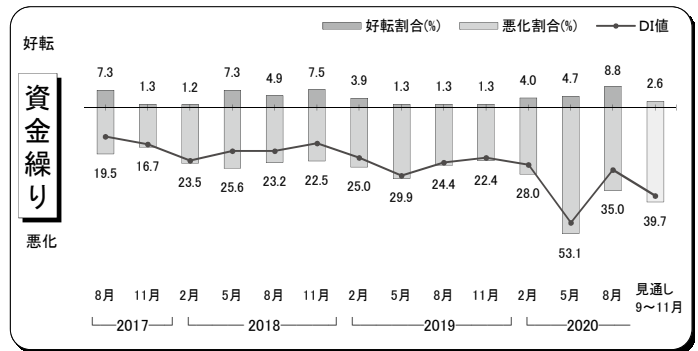
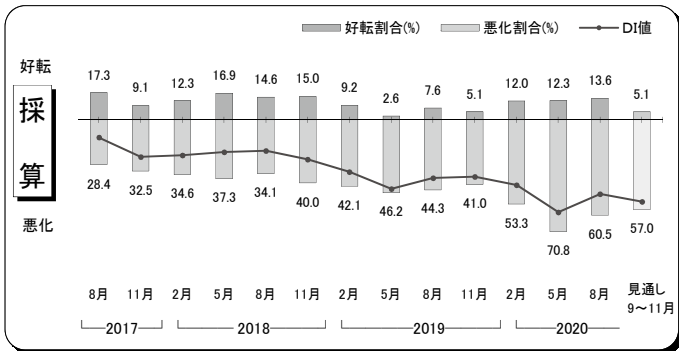
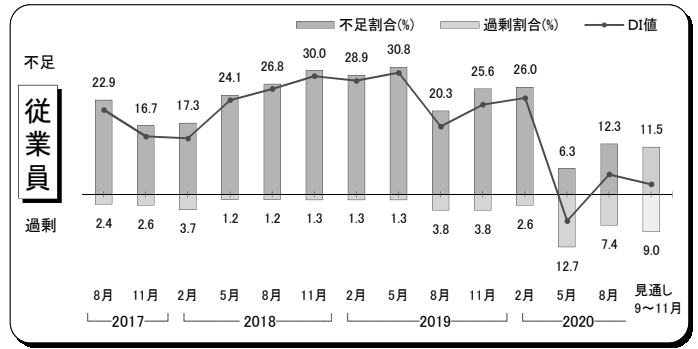
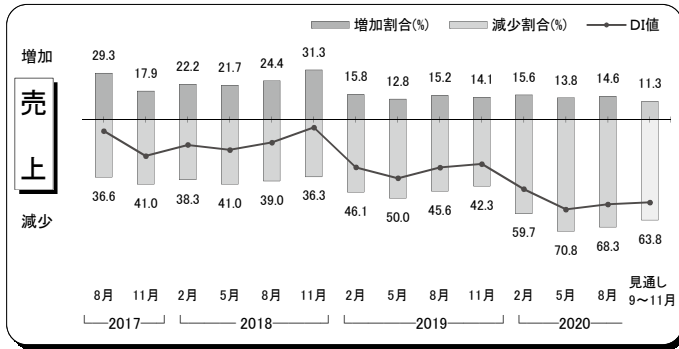
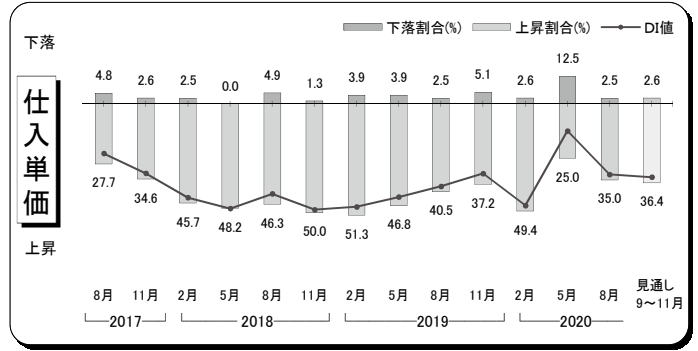
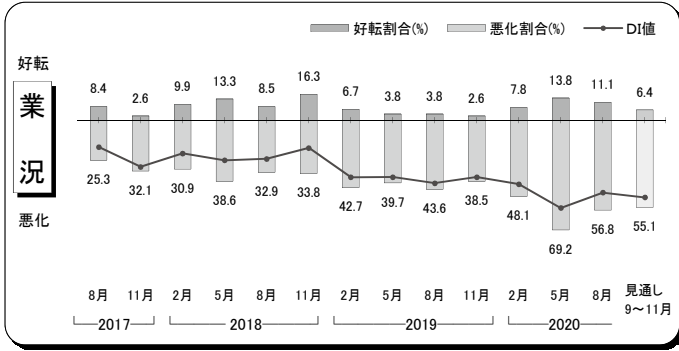


【卸売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

雑穀・豆類卸売業	セーフティネット融資は有効で中小企業の我々は助かった。売上の減少により生産活動を縮小せざるを得なくなり、パート従業員の勤務日数を減らしたため雇用調整助成金の申請をした。しかし、この申請は提出資料も多く、また、従来からある休業手当制度に準じたもので分かり辛いものであった。できれば、コロナ特別措置法の中に組み入れてもらい、申請し易いものとして欲しかった。家賃支援も申請したかったが、3か月連続売上30%減少とならず申請できなかった。ただ、3か月間の平均売上25%減少であったため、申請基準の見直しや固定経費である家賃に対し何かしら支援が欲しかった。
食料・飲料卸売業	持続化給付金は助かりました。
塗料卸売業	補償をもっと手厚くしてほしい。当社の場合、コロナによる利益減少の補償は何もない。
鉄鋼製品卸売業	コロナ終息が予想できない中、売上も全く予想できずに固定費・借入返済のみに追われ、このままでは倒産・廃業に追い込まれるのは明らかで、どのような解決整理方法があるのかを模索中。
非鉄金属スクラップ卸売業	コロナ対策で各国の金融当局は大量の資金供給を行い、結果として金余り状況となり、それが投機資金として商品市場に流入、実体経済とはかけ離れた金融相場にアルミ・非鉄金属はなっている。今回は先が非常に見通せないため、万が一に備えての手元資金の確保には非常に良い支援策だったと思う。
再生資源卸売業	救済措置的な政策より淘汰される方向へ進むのが望ましい。
産業機械器具卸売業	このままでは経済が完全に止まり、コロナ以外による死者が増加する。
その他の産業機械器具卸売業	先は読めない。
自動車部分品・附属品卸売業	弊社のお客様はトラック・バス・タクシーの旅客運輸業界。バス・タクシーは、なかなか投資に後ろ向きであり、希望する顧客が少ない中での商売に苦慮している。
自動車部分品・附属品卸売業	当社としては3～5月の販売に影響した。
化粧品卸売業	with コロナ、ここで注意して頑張るしかない。

【小売業】①

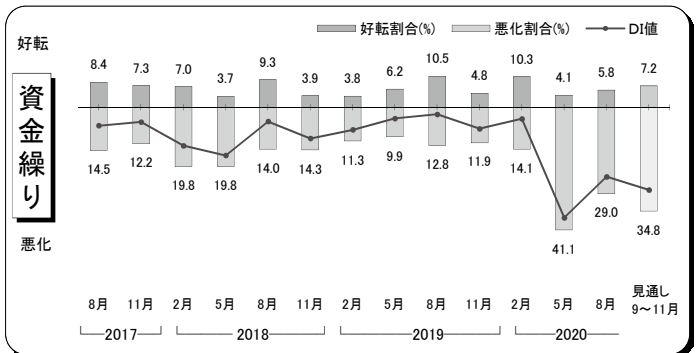
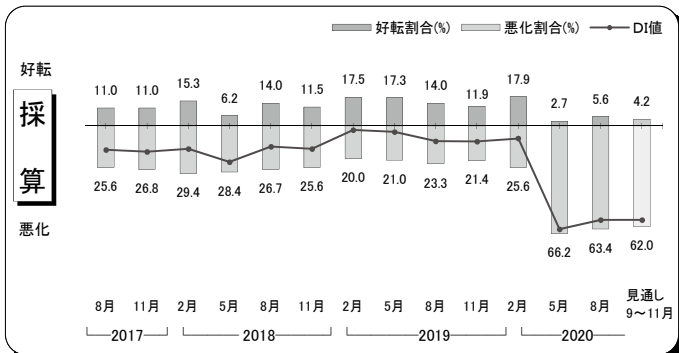
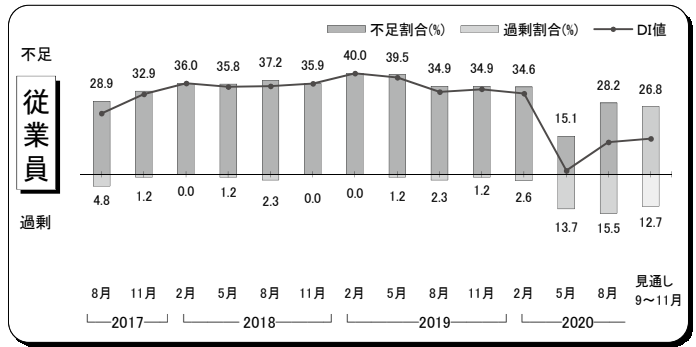
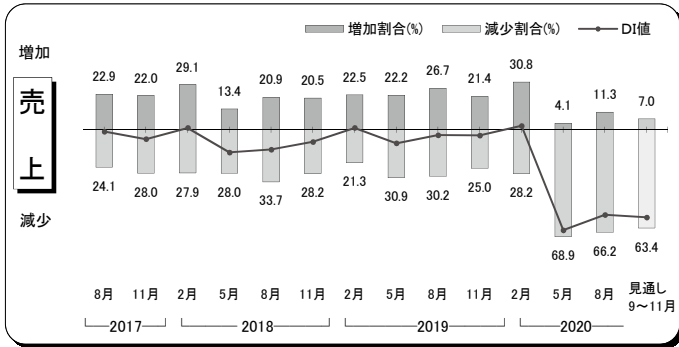
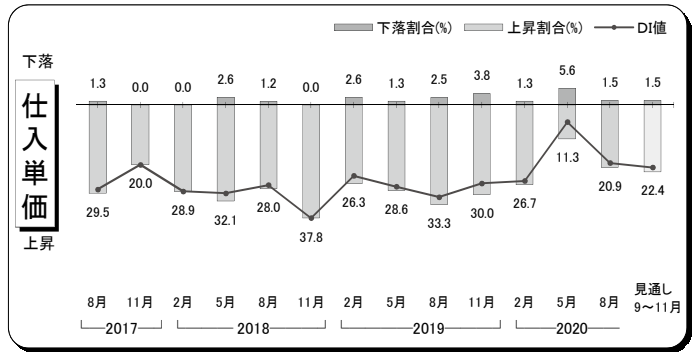
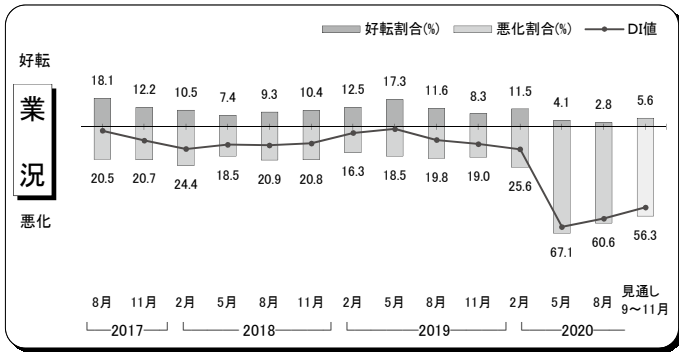


【小売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

百貨店・総合スーパー	対策を講じれば感染するリスクは大幅に減らせるはず。やみくもに感染を恐れ、市民のあらゆる活動が自粛に向かわないよう各行政が国・県・市民に対し、最新の知見を発信し続け、不要な自粛が起きないようにしていただきたい。
百貨店・総合スーパー	国は現状の事実から目をそらさない、且つ、国民に安心を提供する義務があると心得て欲しい。足の引っ張り合いは見ていて腹立たしい。全員がもっと真剣になるようお願いしたい。
百貨店、総合スーパー	コロナ感染を拡大させないためにいろいろ対応している。アルコールなど品薄にならないか危惧している。コロナ対応で以前よりも人が必要になり、コロナ対応に対する要員の確保が難しい。
百貨店、総合スーパー	千葉県としての取組が分かり辛い。対策強化とはいっても感染対策が放置されている、もしくは経済優先で後回しの印象が強い。明確に感染対策を最優先で取り組んでいただきたい。
各種食料品小売業	夏は例年、近隣の自治会・町内会のお祭りの納品が売上の半分以上を占めるのですが、今年は全て無しでした。会議やイベントのお弁当の需要も殆ど無く、大変困難な状況が続いています。
各種食料品小売業	人材不足である。
菓子小売業（製造小売）	家賃補助について、貸主個人と法人代表者が同一の場合に対象外となるのは不公平だ。持続化給付金についても単月50%の場合のみを条件としているのも厳しい。融資など返す当ても期待できないのに借りられるわけがない。
飲料小売業	給付金、支援金の条件をもっと緩和して欲しい。条件に満たなくても売上は激減している。
自動車小売業	新型コロナウイルスの薬が出ないと先が見えない。
自動車（新車）小売業	（国・県・市は）予算のない中、十分支援をしていると思う。
中古自動車小売業	頑張るしかない。
中古自動車小売業	今の状況が長期化したらかなり厳しい。仮によくなっても直ぐには消費が戻るわけではないので、支援金や第二弾の持続化給付金等を考えて欲しい。融資は当てにできない。他の支援金は条件が合わない。売上で全て決められても利益をかなり落としての営業になるので、見かけと実態がかなり異なり、企業努力して売上を確保すればするほど利益は少なくなり、現預金が大幅減少するのは必至。売上の減少はもとより利益の減少の方も存続に大きな影響を及ぼすと思われます。
電気機械器具小売業	（国・県・市は）スピーディーに動いていただけたら幸いである。
ドラッグストア	全従業員向けPCR検査の実施及び費用負担に係る支援を願いたい。
医薬品小売業	風邪薬は50%減の売上（主要商品）ですが、他の商品で多少売上を増しているのが昨年比で売上増になってきている。
医薬品小売業	給付金・補助金はよくわからない。どれにも当てはまらないようで、しかし、採算が難しくなっている。
調剤薬局	現在、既に取り組んでいるところではあるが、新型コロナウイルスの薬局内での感染拡大を防ぐための取組をさらに行おうと思っている。
紙・文房具小売業	感染症に強いまちづくりに向けて、リモートワークを強化するチャンス。そのために人的、金銭的支援を強化して欲しい。
紙・文房具小売業	8月の売上が増加しているのは、たまたま8月期にお客様の新築があり、備品等が出たため9月以降はほとんど見当がつかない。
スポーツ用品小売業	減税を検討して欲しい（時限的な物でも）。
ホームセンター	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、経済活動は止めがたいが、経済価値と感染拡大防止という社会価値の双方を両立させるために、よりテレワークなどの推進を企業へ要請しても良いと考える。
建築材料小売業	PCR検査を軽易に出来るようにし、社員の陰性を確認して心配なく仕事に従事させたい。

【サービス業】①



【サービス業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

情報処理サービス業	先行きに不透明感がある。当面は情報共有（コロナ、金融等）をお願いしたい。商工会議所として中小企業の立場から施策提言など出来れば良いと思う。
テレビジョン番組制作業	緊急事態宣言が解除されたものの、感染症対策により撮影業務が始動しない（三密対策により人が集まっての仕事が出来ない）。また、イベント・ライブ等（中止または無観客）の撮影も止まっているのが現状。最近の日本全土での感染者人数増を鑑みると県をまたぐ移動、業務は厳しさを増すのではないかと懸念される場所である。
運輸附帯サービス業	比較的影響を受けていないと思われるが、航空燃料荷役に関する業務に影響が出ている。絶対的に少し影響は出ているものの、今のところはわずかである。コロナの影響は長引くと想定してはいるものの、長引くに従って総じて影響を受けてくるものと覚悟している。今後の経済の推移に連動すると思われる。人の出入りが止まっていることがせめてもの救いである。政府のカンフル的救済処理が功を奏するのか否か、長引けば息切れてしまうことが大きく影響することが心配だ。
呉服・服地小売業	持続化給付金は助かった。何とか維持できるよう検討する。
不動産管理業	7月に家賃収入減対策として千葉市の窓口へ相談に行ったが、6月中で締切とのこと。もっと早く支援制度の情報を入手すべきだったと後悔している。
建設機械器具賃貸業	景気の悪化に伴い、売上の減少が拡大。いつまで耐えれば良いのか先が見えない。
測量業	当社では8月まで新型コロナウイルスの影響は少なく、なんとか乗り切れるかなとみていたが、感染拡大が一挙に伝えられたのと比例して人々のところに不安感が大きくなり、現場立ち合い等に支障をきたし、仕事が3～4割遅れている。国政として新型コロナウイルスへの対処方法を具体的に指導してもらいたい。現場では人々が戸惑うばかりである。
旅館・ホテル	ホテル業界の回復は極めて鈍く、ここに来て東京・首都圏の感染者が増えてきている影響で再びキャンセルが増えてきている。来年の3月ごろまで宴会のキャンセルが開始しており、果たして長期化するコロナ禍を乗り切れるかぎりぎりの段階を迎えている。来年のオリンピックの動向も立地の観点から注視しているが、早目の決断を求めている。また、雇用調整助成金の優遇措置の延長、再度の持続化給付金の支給を要望したい。
旅館・ホテル	給付金を再度使えるようにするなど支援措置の継続・拡充を切望する。一方、GOTOキャンペーンに見られるように運用が曖昧なままに支援措置が開始されると現場が混乱し、負担が増大する。自治体の類似の対策との整理も含め、現場が使いやすい施策を講じるようお願いしたい。
専門料理店	今のところ何とかバランスをとっているが、再度、自粛要請・規制等が強化された場合には戦略を変えて挑まなければいけないと考えている。
喫茶店	コロナによる売上減。しかし、支援策に申請するも対象外となる。他事業に影響が出ないうちに飲食業の廃業・解雇をしなければ法人の経営が厳しい。しかし、支援を一切受けられない。

“先行き見通し”D1連の推移

(1) 業況

Table with 20 columns (months from 24年8月 to 25年8月) and 10 rows (業種, 全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス). Values range from -19.3 to 50.7.

(2) 売上

Table with 20 columns (months from 24年8月 to 25年8月) and 10 rows (業種, 全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス). Values range from -9.9 to 64.4.

(3) 採算

Table with 20 columns (months from 24年8月 to 25年8月) and 10 rows (業種, 全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス). Values range from -17.3 to 50.9.

(4) 仕入単価

Table with 20 columns (months from 24年8月 to 25年8月) and 10 rows (業種, 全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス). Values range from -21.4 to 31.6.

(5) 従業員

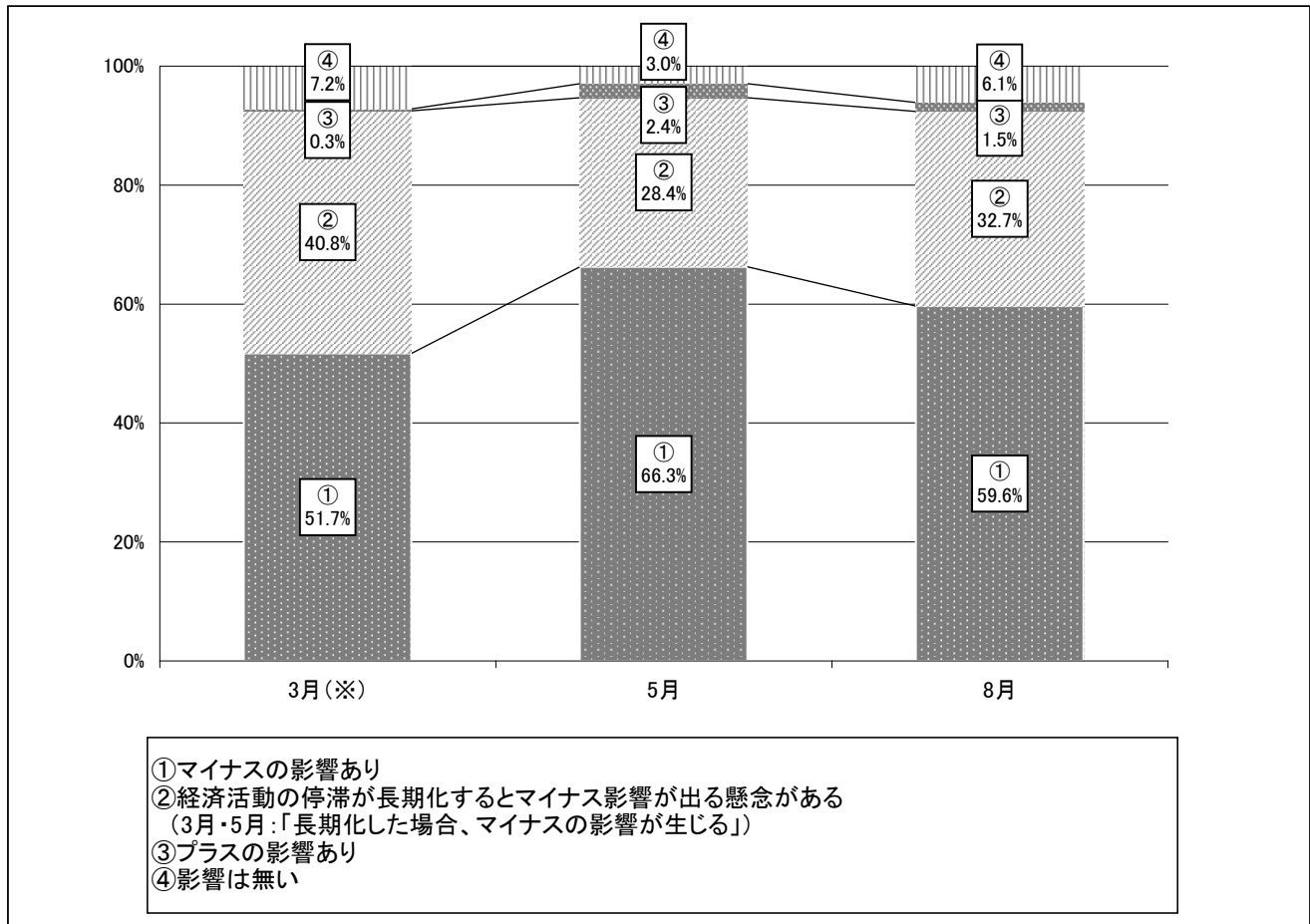
Table with 20 columns (months from 24年8月 to 25年8月) and 10 rows (業種, 全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス). Values range from 4.6 to 28.8.

(6) 資金繰り

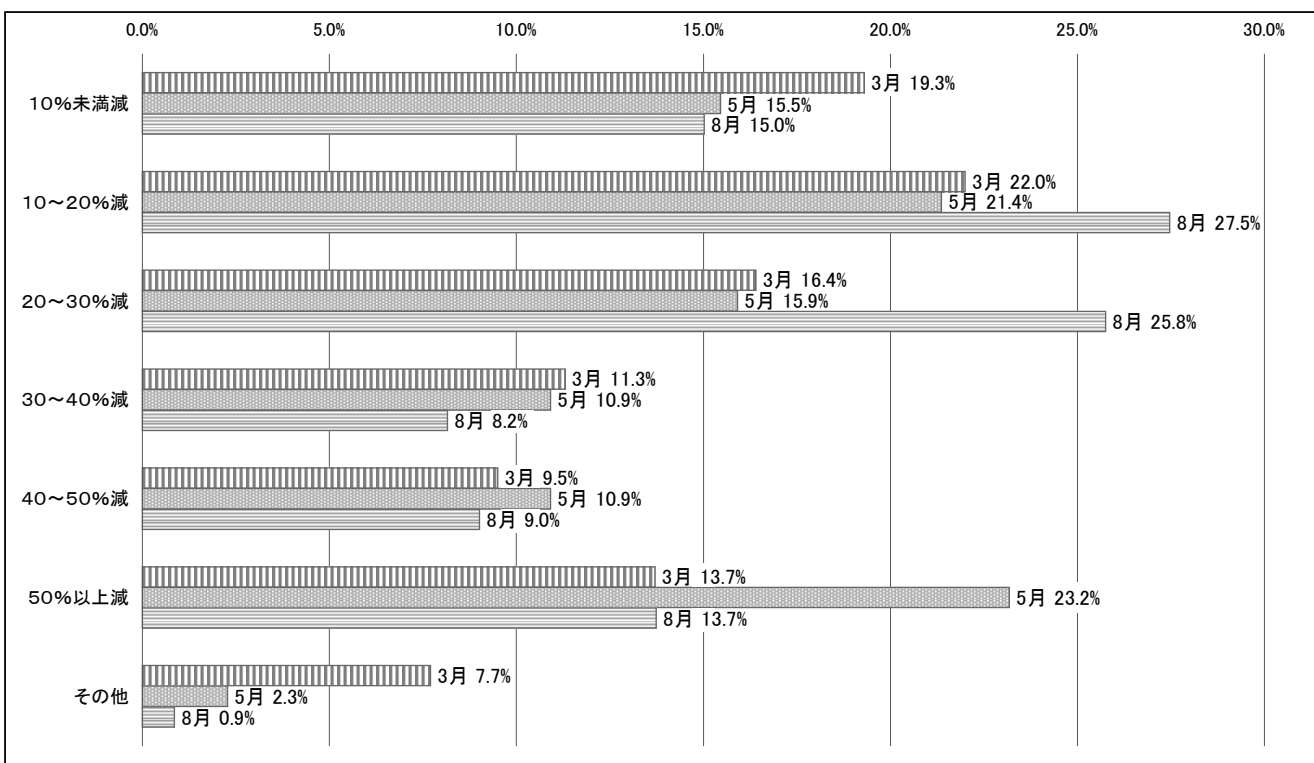
Table with 20 columns (months from 24年8月 to 25年8月) and 10 rows (業種, 全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス). Values range from -16.6 to 28.8.

付帯調査結果

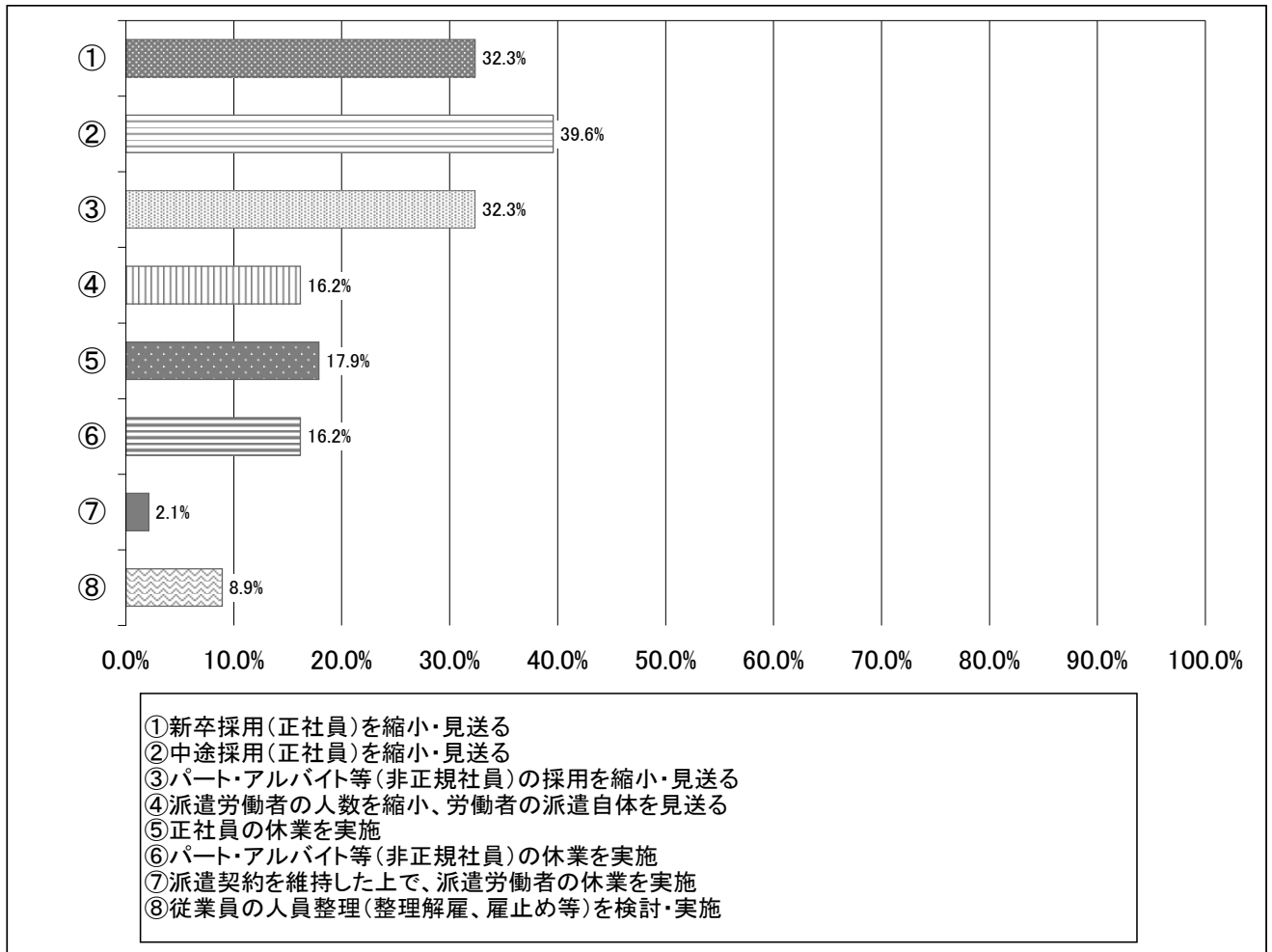
(1) 自社への影響の有無



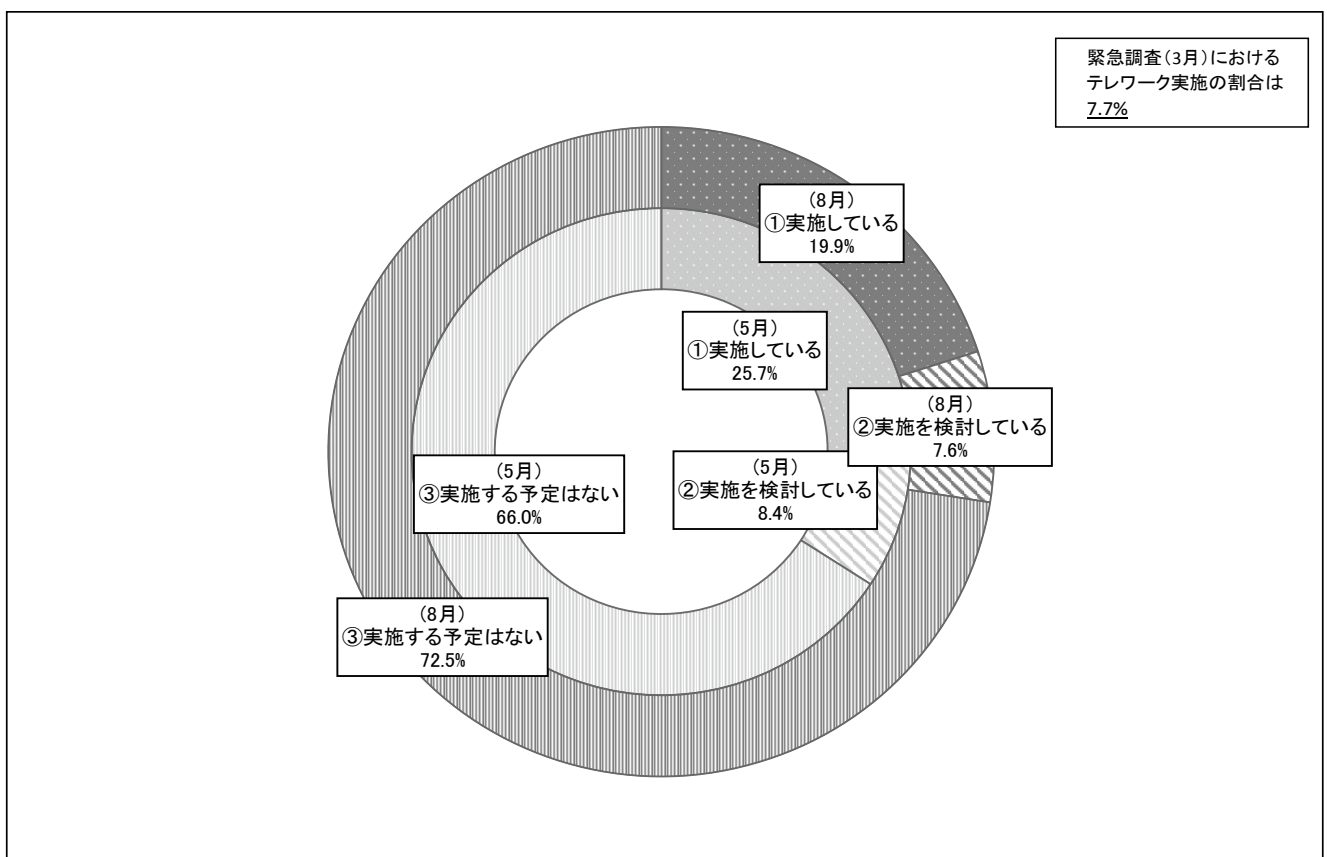
(2) 「設問(1)」で「① マイナスの影響あり」と回答した企業に伺った。※8月の売上の影響(前年同月比)



(3) 今年度の雇用や採用関連の動きについて
「設問(1)」で「①マイナスの影響あり」と回答した企業に伺った【複数回答可】



(4) テレワークの実施について



(5) 活用した又は活用予定の新型コロナウイルス感染症に関する各種支援策について【複数回答可】

	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1. 持続化給付金	47.6%	62.0%	50.8%	39.1%	49.3%	34.5%
2. 千葉県中小企業再建支援金【県】	29.5%	42.3%	32.3%	24.6%	26.1%	20.7%
3. 家賃支援給付金	13.6%	15.5%	6.2%	13.0%	18.8%	13.8%
4. 千葉市テナント支援金【市】	5.1%	2.8%	1.5%	2.9%	8.7%	10.3%
5. 雇用調整助成金	26.5%	15.5%	35.4%	29.0%	18.8%	36.2%
6. 働き方改革推進支援助成金	2.7%	1.4%	4.6%	2.9%	0.0%	5.2%
7. ICT活用変革促進事業【市】	1.5%	4.2%	1.5%	0.0%	1.4%	0.0%
8. IT導入補助金	6.6%	7.0%	9.2%	1.4%	7.2%	8.6%
9. 持続化補助金	7.2%	8.5%	9.2%	5.8%	8.7%	3.4%
10. 新型コロナウイルス感染症特別貸付 【日本政策金融公庫】	22.3%	14.1%	23.1%	23.2%	29.0%	22.4%
11. セーフティネット保証等を利用した金融機関から の融資(実質無利子・無担保含む)【金融機関】	30.1%	23.9%	32.3%	37.7%	27.5%	29.3%
12. 対象外である	21.4%	18.3%	13.8%	21.7%	27.5%	25.9%

※緊急調査(3月実施)

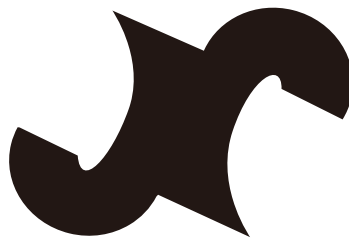
「新型コロナウイルス感染症に関する緊急調査」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経営への影響について調査するため、当所が会員企業に対して実施した。

【調査期間】令和2年3月18日～4月3日

【調査対象】4,550社

【調査方法】FAX及び郵送によるアンケート調査



【お問い合わせ】
千葉商工会議所
企画経営部 企画広報課
〒260-0013
千葉市中央区中央 2-5-1
TEL: (043) 227-4103
Mail: chosa@chiba-cci.or.jp

